

令和6年度（2024年度） 鴻池小学校 第2回学校運営協議会 議事録

1. 日 時 令和6年 12月11日（水）18:00～19:10

2. 場 所 鴻池小学校 視聴覚室

3. 参加者 協議会委員 : 阪田会長・寺井副会長・北田委員・堤委員・吉田委員
小西委員・岡村委員・岡本委員
教職員 : 栗生校長先生・安井教頭先生
その他 : 荒西コーディネーター
教育委員会より: 二宮教育委員・武市指導主事

4. 学校長あいさつ

今年は秋がないまま、いきなり冷え込んで冬がきたように感じています。数週間前から、市内の小学校で学級閉鎖のクラスが出てきているようですが、今のところ鴻池小学校では風邪や発熱で欠席者はいるものの学級閉鎖とまではいかないで、このまま終業式まで無事に過ごせたらと思います。

学校生活では体育大会、秋の遠足や校外学習は全て終わり、今は各学年で体験学習を含めた授業を行っています。このような行事があると、普段は登校しづらい児童の参加率が高くなるので、行事の内容を工夫しながら取り組むことは非常に大切だと感じました。

子どもたちは非常に元気で、寒さは関係ないかのようにグラウンドで活発に遊んでいます。そのように身体を動かす機会が多く、免疫力が上がることによって風邪等が流行せずに過ごしているのかと思います。

最近、通学路の件で地域の方から連絡をいただいています。特にスポーツセンターの交差点が危険箇所です。警察の方や市役所の方、教員で様子を見ていますが、今後も根気よく啓発活動をして通学路の安全の確保に努めてまいります。

5. 内容

(1) 学校の様子について

(学校だよりに沿って振り返り)

- ・6/5～6/6に6年生の修学旅行があったが、外国人の観光客が多く修学旅行シーズンだったということもあり、平和記念資料館は人がすし詰め状態であった。2日目の厳島神社と周辺の散策は朝早くに行ったので他の修学旅行生が少なく、比較的ゆっくり見学ができた。
- ・6/17～6/21に5年生の自然学校があった。2日目に雨が降ったので、2日目と3日目の内容を変更し調整した結果、ほぼ予定通りに4泊5日の活動を終えることができた。
- ・体育大会は雨天用のプログラムに変更して実施した。雨により中断する結果になってしまったが、後日行われた残りのプログラム（リレー大会）では、たくさんの保護者の方に見に来ていただけてよかった。体育大会の時期としては、涼しくなってきた頃に練習に取り組むことができる一方で、雨が増えてくる時期でもあるので、来年度以降も実施方法については検討していきたい。

<主な質疑応答 ●: 委員 ○: 回答>

●平和記念資料館を見学した6年生たちの反応はどうだったか。

○事前学習をしていたこともあり、真剣に見学している姿が見られた。実際の展示を見ることが事前学習の内容が深まり、核兵器の恐ろしさを肌で感じられたと思う。ピースボランティアさん（平和記念公園で案内と解説をしてくださる方）からリアルなお話を聞き、公園でも充実した時間を過ごすことができた。

●そのピースボランティアさんは、世代交代をされていて若い方々なのか。

○戦争を幼少期に体験したり、話を聞いてきたというご高齢者が多い。終戦後にお生まれになった70代の方は、戦争の実体験を親御さんから聞かれているので、まだリアルな話を聞くことができるタイミングだと思う。

(2) 全国学力・学習状況調査の結果について

【国語】

- ・県、全国平均を少し下回った。
- ・問われている内容を正確に理解し、求められた内容通りに解答する力が弱い。
- ・登場人物の心理描写を読み取る力が弱い。
- ・漢字を正確に書けていない児童の割合が高い。

【算数】

- ・県、全国平均を上回った。
- ・図形が苦手な児童が多い。
- ・グラフから必要な情報を読み取る力が弱い。
- ・自分の考えを道筋立てて説明する力が弱い。

<主な質疑応答 ●：委員 ○：回答>

●昔に比べて、学習内容は難しくなっているのか。

○学習指導要領の改訂にあたり、学習する単元を前倒しで学んでいるので難化していると感じる。英語に関しては、中学校に上がるといきなり文法等を学ぶことに苦手意識を持つ児童がいる。楽しみながら英語に馴染む、という小学校での学び方とのギャップを埋めていきたい。

●子どもたちからの「なぜ勉強をしないといけなの？」という問いに、どう答えているか。

○教科ごとにそれぞれの考え方があり、その考え方に触れることによって子どもの引き出しは増えていくと思う。単純に点数を取るのではなく、考え方を身につけるために学習している。生活の中で知らず知らずのうちに、それらの学習した知識や考え方が活かされている場面がある。子どもたちには、将来やりたいと思うことを選択できるようになってほしいので、様々な学習をしていくという話をしている。

(3) 学校評価の中間報告について

- ・学校評価では、児童、教師、保護者の好意群が概ね高い数値となっている。しかし、読書日記をこまめに記録しているかについては、好意群が74.2%と低い数値であった。読書日記は今年度から新しく始めた取り組みであるが、児童の定着度合いや、教員の取り組み方に差があることが影響しているようである。来年度以降、研修等を通して教員の共通理解を深めたい。
- ・子どもが週末や休日に家庭で読書をしているかについては、保護者の好意群が39.4%と極端に低い数値である一方で、自分から進んで読書をしていると回答する児童は80.3%と数値に大きな差が出ている。学校では読書をするが、家庭で読書をする習慣があまりない子どもがいるので、多くの子どもが進んで読書ができる取り組みを検討していきたい。
- ・教員の評価については、全体的に好意群が高い数値となっている。学級でトラブルがあった際に教員は、どのようにすれば解決できるかを皆で考えて、一生懸命対応してくれていると感じる。教室や廊下にある掲示物も工夫していて、それぞれの教員が学級経営に力を注いでいる。
- ・タブレット端末を家庭学習で有効に活用しているかについては、好意群が57.1%とやや低い数値であった。タブレットを有効に使うことができるような家庭学習の課題の出し方を、今後も検討していきたい。

<主な質疑応答 ●：委員 ○：回答>

●読書ボランティアさんが本の読み聞かせをしてくださっているが、低学年や中学年に比べ、高学年の反応は淡泊な気がしている。

○思春期を迎えつつある高学年の子どもたちからすると、読み聞かせは少し照れくさい気持ちになるのかもしれない。読書ボランティアさんの活動が始まってから、子どもたちが本を読み聞かせてもらう機会は確実に増えている。子どもたちが本に触れるきっかけにもなるので、今後も積極的に読み聞かせをしていきたい。

●本を読むことの楽しさを、子どもたちにはどのように伝えているか。

○教員たちのおすすめの本を紹介したり、子どもの発達段階に合った本に触れられる機会をつくる取り組みをしている。行間を読む力を身につけるために、特に高学年の子どもには小学生向けに作られた文学作品を読んでほしい。

6. 閉会あいさつ（阪田会長より）

先日、学校運営協議の推進協議会に参加しました。鴻池小学校では夕方からの会議となっていますが、他校では午前中に会議をしているところもあり、そのようなやり方もあるのだと思いました。会議に出席されている方々が、それぞれ情報や意見を交換して協力し合うことにより、学校運営協議会は有意義なものになると思います。次回は年度末に、今年度最後の学校運営協議会がありますので、よろしくお願いいたします。

以上